

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. ガバメントクラウドファンディングの活用について</p> <p><b>【質問趣旨】</b>  ガバメントクラウドファンディングとは、ふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングであり、自治体が抱える課題解決や新たな価値提供のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄付を募る仕組みです。  この仕組みは、寄附者が本市の地域課題や推進したい事業を知るキッカケにもなり、地域に継続的に関心を持っていただき、地域の関係・交流人口を増やす効果も期待されます。(次ページへ)</p>	<p>(1) 本市のふるさと納税の現状について</p> <p>(2) ガバメントクラウドファンディングとふるさと納税の違いについて</p>	<p>① 令和4年度決算に係る主要な施策の成果に関する報告書によると、本市のふるさと納税は、寄附件数の計画値 3,300 件に対して、実績値 12,180 件。寄附金額の計画値 1 億円に対して、実績値 1 億 9,743 万 1 千円であり、いずれも大幅な伸びを示しています。一方、瀬戸市民が他の自治体に寄附したことで税金の寄附控除を受けた額は、3 億 819 万 1 千円であり、減収分 75%の地方交付税他経費を併せると合計で 3,188 万 6 千円の黒字という状況であります。まず、本市として現状をどのように評価しているのか伺います。</p> <p>② 本市では、令和5年度から寄附金の使い道を 14 種類から 4 種類とし、寄附金を政策財源として柔軟に活用できるように変更しています。これはふるさと納税制度を活用する寄附者が、寄附金の使い道ではなく、返礼品で寄附先を選ぶ現状を受け止めたくえでの対応と理解してよいのか伺います。</p> <p>① ふるさと納税を扱うサイトを見ればわかるように、「好みの返礼品を選ぶ」ことから始まる現行のふるさと納税は、「モノ」から選ぶふるさと納税であるのに対し、ガバメントクラウドファンディングは、「応援したいプロジェクトから選ぶ」ことから、「コト」から選ぶふるさと納税と捉えられます。現在、本市のふるさと納税は、使い道を柔軟にしたことから、より「モノ」で選ぶふるさと納税となっていると考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>また、プロジェクトによっては、本市への来訪動機、転入動機、本市の厳しい財政状況、歳入確保への一助にもなり得ることからも、この仕組みの活用にチャレンジしてみてもどうかと考え質問します。</p>	<p>(3) ガバメントクラウドファンディングに期待できる効果について</p> <p>(4) ガバメントクラウドファンディングの実施について</p>	<p>① ガバメントクラウドファンディングは、自治体がプロジェクトを提案する仕組みであることから、本市においては、従来の「モノ」から選ぶ仕組みに加えて、「コト」から選ぶ仕組みが創出され、寄附者・寄附額の増額、つまり歳入確保に繋がると考えますが見解を伺います。</p> <p>② ガバメントクラウドファンディングに期待できる効果として、プロジェクトを前面に出し、寄附をいただく構成であることから、本市が推進したい事業や思いが伝えやすい、またプロジェクトに参加していただくことで、本市への来訪動機や転入動機にもなり得ると考えますが、見解を伺います。</p> <p>① ガバメントクラウドファンディングの実施は、注目度が増している本市においては期待値も大きく、また行政のリスクマネジメントの観点からも、基本的にマイナスがないことからローリスクであると考えます。プロジェクトに共感いただいた方からの寄附が原資となることから、市長の思いを乗せたプロジェクト提案も可能であり、来年度からの実施も検討すべきだと考えますが、実施の是非についての見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 瀬戸にあるものを活かす ～ごみ減量意識編Ⅱ～</p> <p><b>【質問趣旨】</b>          本年9月からのごみ袋の大幅値上げが凍結され、ごみ処理費用有料化に伴う燃えるごみ袋・燃えないごみ袋の変更がされて約3ヶ月が経過しました。</p> <p>値上げ凍結の是非が問われた6月定例会では、値上げをしないことでごみの量が増えてしまうのではという懸念がありました。ごみ袋を変更した9月では、燃えるごみ(家庭系)の削減量が前年同月比-552tであり、昨年10月のプラスチック製容器包装の分別開始以来、最大の削減幅を記録しています。(次ページへ)</p>	<p>(1) ごみ袋変更後の9月からの収集実績について</p> <p>(2) 市民の皆様への実績報告について</p>	<p>① 質問趣旨で述べた通り、ごみ処理費用有料化に伴うごみ袋の変更を、ごみ袋値上げ凍結という状況で迎えた9月以降の燃えるごみ(家庭系)の収集実績、プラスチック製容器包装の収集実績、ミックスペーパーの収集実績を、どのように評価しているのか、またその要因について伺います。</p> <p>② 9月の燃えるごみ(家庭系)の削減量の実績は、前年同月比-552tであり、23.74%の削減となっていますが、ごみ袋大幅値上げをする予定であった当初に期待されたごみ減量効果と比べてどのようか伺います。</p> <p>① 9月以降のごみ減量実績は、担当課職員の努力はもとより、市民の皆様のご協力の賜物とも言えます。市民の皆様による成功体験として、あらゆる媒体を駆使してお伝えすべきではないか、市長から市民の皆様に対して感謝の意を伝えるべきではないか、それが今後ますますのごみ減量・ごみ分別推進に繋がるのではないかと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>それまでの最大削減幅は前年同月比-274t であったことから、値上げなくしてのこの数字は大変喜ばしいことであり、ごみに対する市民意識の改革が、数字として現れていると言えます。</p> <p>より一層のごみ減量・ごみ分別を促進させるためにも、この成功体験を市民の皆様にしっかりお伝えすべきと考え質問します。</p>	<p>(3) プラスチック製容器包装の週一回収と集積所の増設について</p>	<p>① 9月定例会一般質問における答弁において、「プラスチック製容器包装の分別に関して、収集回数の増加や回収場所の増設など、市民の皆様から多くの要望が寄せられているところです。現在、プラスチック製容器包装の回収量の実績、集積所の状況などから市民の皆様にとってわかりやすく出しやすい収集方法を模索しており、ご指摘の回収頻度や回収場所の充実につきましても検討を進めている段階でございます。」という答弁でありました。その後の検討状況について伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。